

ふれあい

No. 3

編集発行

上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

先週、4年ぶりに全校児童が体育館に集まる全校集会を行いました。4年生以下の児童は、全校で校歌を歌うことが初めてでしたが、みんな元気に歌いました。こうして全校で校歌を歌えることを幸せに思い、ありがたく感じました。今回は、全校集会で私が話したことを紹介します。

私は毎日、校舎を歩き回っていますが、何のためだと思えますか？それは、皆さんが「わくわくする学習をしているかな」「チャレンジしているかな」「ありがとうがどこかにあるかな」…と「わくわく、チャレンジ、ありがとう」を見つけるためです。これらをまとめて、私は「かがやき」と呼んでいます。だから、私を見かけたら、「かがやきみつけ」をしているのだと思ってください。

さて、皆さんは、イソップ物語の「ウサギとカメ」の物語を知っていますか。

足の速いウサギと足の遅いカメが山のふもとまで駆けっこし、ウサギが足の速さを生かして引き離し、ここまで来ればひと安心と油断をしてつい居眠りをしてしまい、カメに追い越されて負けてしまうお話です。この話から学ぶ大切なことは、「油断をしては、いけない」ということだ…と受け止める人もいます。また、ウサギは、カメを見て走りましたが、カメはゴールを見て走りました。「他の人と自分を比べるのではなく、目的に向かって努力することが大切なのだ」と受け止める人もいます。今日は、ちょっと違った「ウサギとカメ」の物語をしたいと思えます。

昔々、あるところに、ウサギとカメが仲良く暮らしていました。ある日、どちらともなく駆けっこ競争をしたくなりました。ウサギは、自分が速く走れることを知っていましたが、どれだけ速いか比べてみたいと思っていました。カメは、自分が走るのが遅いことを知っていましたがどれだけ遅いか比べてみたことがありませんでした。

そこで、ずっと向こうの山のふもとまで競争しようということになりました。「よーい、どん」ウサギとカメは、同時にスタートしました。ウサギは自分の足の速さを生かして、脇目もふらずにゴールを目指して走っていきました。イソップ物語のウサギではないので途中の一休みをしないでゴールを駆け抜け、後から来るカメのゴールを待ちました。途中でやめてしまったかなと思うくらいカメは遅れて来ました。そんなカメにウサギは、「大丈夫かい？」と声をかけました。

カメは、息を切らしながら、「ウサギさんはやっぱり速いね。スタートからあつという間に見えなくなったね。途中の道端にいたお地蔵さんのところでやめようかと思ったんだけど、お地蔵さんが『がんばれ！がんばれ！』と励ましてくれているような気がしたので走り続けたんだよ。でもやっぱり茶店のところや郵便ポストのところであつらくなって何度も走るのをやめようと思ったんだけど、がんばってゴールしたんだよ。本当にウサギさんは速いね。」

それを聞いたウサギは、「僕は足に自信があったから、ゴール目指して一生懸命走ったんだよ。でも途中にお地蔵さんや茶店や郵便ポストがあったなんて全然気が付かなかった。カメさんはいろんなものを見ながら努力しているんだね。これからも教えてね。」ウサギとカメは、お互いに認め合うことにより、自分の得意なものや不得意なものに気付き、自信をもちながら前よりも仲よく暮らしました。～おしまい～

さて、先日、体育祭がありました。優勝を目指して赤軍も白軍もとてもよくがんばりましたね。この話のウサギやカメのように、自分の力を発揮して一生懸命走るだけでなく、自分にはない素晴らしさに気付き、お互いの違いを認め合える、そんな仲間づくりができるといいですね。

春日小学校の全校児童は705人です。ですから、その数だけ、様々なよいところ、様々な「かがやき」が

あります。一人一人の「かがやき」を大切に、お互いを認め合うことができる人になってくれることを心から祈っています。皆さんも、「かがやきみつけ」をしてみませんか。

このような話をした翌日、校舎内を歩いていると、1年生の女の子が「校長先生！何か見付けているんだよね。今日は、見付かった？」と私に話し掛けてくれました。私は、「今、とても素敵なかがやきを見付けたよ。ありがとう。」と笑顔で話しました。また、2年生が「校長先生！かがやきを見つけたければ、2年生のところにいよ。みんな、かがやき(学年)だよ。」と教えてくれました。春日小学校は、感じる心をもって歩くと、幸せがたくさん見付かる学校です。

生徒指導の眼

◇6・7月の生活目標◇

廊下や階段を歩こう

温かいメッセージを伝え合おう

～よりよいかかわり、コミュニケーションの力を！～

1学期後半を迎えました。お子さんは、友達と学校生活を楽しく過ごすことができているでしょうか。学校では、各学年の活動や行事をさらに進め、互いに意見の違いを認め合いながら、課題や問題を乗り越える経験や学習をしていきます。様々なコミュニケーションの力が必要になってくる場面です。

春日小では、ソーシャルスキル教育(SSE)を行い、友達と気持ちよくなかかわるためのスキルを学び、これを使う気持ちよさや相手を大切にできる態度と思いやりを育てています。

今年度2回目は6・7月の生活目標と合わせて「温かいメッセージの伝え方」を学習し、学年の活動や行事の1コマを取り上げ、よいかかわりについて意見を交換しトレーニングします。よりよくなかかわり、楽しく活動できることを願っています。



「すごいね」 「すてき」 「ありがとう」 「いっしょにがんばろう！」

<温かいメッセージ>

- ① 感謝する
- ② 相手を気遣う
- ③ 褒める
- ④ 励ます

<言葉以外の温かいメッセージ>

- ① 相手に近づく
- ② 相手の目を見る。
- ③ 聞こえる声で言う
- ④ 笑顔、拍手、ハイタッチ

一方日常生活では、**心無い言葉**が気になります。軽い気持ちで、人を傷付ける言動をとる様子が見られます。言語環境は、友達関係に大きな影響が出ます。相手と気持ちよく過ごすには、どんな言葉がけや態度をとるとよいのか、学校と家庭で一緒に見守り、教えていきましょう。思いやりのある素敵なかかわりを、たくさん見付けていきましょう。

最近の様子から・・・見守りをお願いします

- 自転車は左側走行。一旦停止して横断する。ヘルメットをかぶるのが望ましい。
- 人の家の敷地に入ったり、敷地内のものを勝手に触ったりしない。
- お金をもって遊びに行かない。子どもだけでお店に入って買い食いをしない
- 友達の家や子どもの家では、家の人や管理人さんの言うことをしっかり聞く
- 家の人が留守のときは、友達を家にあげない。あがらない。